

## 実験劇場

### ●設立の趣旨

当館の新しいあり方を工夫するとともに、館の活性化を図るための試みとして、平成12年度から将来を担う有望な若手新進監督の映画作品や良質な作品から、写真美術館にふさわしい映画を他に先駆けて1階ホールで上映している。

### 写真美術館で観る映画シリーズVol.15

#### 「天上草原」

上映期間 平成17年3月12日(土)～4月22日(金)  
20日間(平成17年4月1日以降の上映日数)  
入場者数 2,070人

モンゴル高原地帯にある内モンゴル自治区。心に傷を負い、失語症に陥った漢族の少年フーズが訪れた新緑の大自然。そこで暮らす元夫婦の愛情と大地のエネルギーに癒されて、フーズが少しずつ回復していく。懐かしさと憧憬を誘う内モンゴル草原の心暖まる作品。



### 写真美術館で観る映画シリーズVol.16

#### 「村の写真集」

上映期間 平成17年4月23日(土)～5月27日(金) 35日間  
入場者数 6,245人

山間に消えゆく村を写真に残すために、徳島の山村で写真館を営む父と東京でカメラマンの助手を務める息子が晩秋の紅葉路を巡る。日本の自然と、村の人々の温かさを背景に、父と子そして家族の絆を改めて感じさせる映像叙情詩的作品。



### 写真美術館で観る映画シリーズVol.17

#### 「チャレンジキッズ」

上映期間 平成17年5月28日(土)～7月1日(金) 35日間  
入場者数 1,838人

全米スベル暗記大会を舞台に、チャンピオンを目指して挑戦する子どもたちとその家族の姿を追ったドキュメンタリー作品。人種や国境を越え、普遍的な家族の愛を思い起こさせる。



#### 「あした元気になる～れ！～半分のさつまいも～」

上映期間 平成17年7月2日(土)～8月25日(木) 55日間  
入場者数 1,315人

戦後60年を記念し、二度と傷ましい戦争がないよう願いを込めて制作された長編アニメーション映画作品。空襲で家族を失い、残された兄を捜し続ける主人公かよ子の幼いながら強く生きる姿が、命の尊さと平和を訴える。



#### 「F4 Film Collection 2005」

上映期間 平成17年7月2日(土)～8月25日(木) 55日間  
入場者数 13,307人

「流星花園 F4 music party 演唱會」(DVD上映)(7月2日～7月8日)、「マジック・キッチン」(7月9日～7月29日)、「スカイ・オブ・ラブ」(7月30日～8月9日)、「スター・ランナー」(8月10日～8月19日)、「F4 Fantasy Live Concert World Tour at Hong Kong Coliseum」(DVD上映)(8月20日～8月25日) アジア全土で人気がある台湾のグループ、F4の主演映画3作品とライブ映像を上映した。



#### 「第4回東京アニメアワードフィルムフェスティバル」

上映期間 平成17年8月26日(金)～8月28日(日) 3日間  
入場者数 2,116人

平成17年度東京アニメアワードで各賞にノミネートされた作品と受賞した新進気鋭の作品を上映した。



#### 「2005チェコ映画祭」

上映期間 平成17年8月30日(火)～9月9日(金) 11日間  
入場者数 2,593人

1965年以降のチェコ映画の中から選ばれた代表作で、今回が本邦初公開となる作品も多数上映した。



写真美術館で観る映画シリーズVol.18

## 「about love」

上映期間 平成17年9月17日(土)～10月28日(金) 38日間  
入場者数 2,780人

東京・台北・上海のアジアの3つの大都市を舞台に、留学生と現地に暮らす異性との出会い、言葉が通じない人間同士の異文化コミュニケーションを共通のテーマに、3つの物語で構成したラブストーリー。



## 「ショート ショート フィルムフェスティバル受賞作品上映」

上映期間 平成17年10月29日(土) 1日間  
入場者数 361人

ショートショートフィルムフェスティバル2005とショートショートフィルムフェスティバルアジアの受賞作品を上映した。



写真美術館で観る映画シリーズVol.19

## 「ロッテ・ライニガーの世界」

上映期間 平成17年11月12日(土)～12月16日(金) 35日間  
入場者数 7,535人

世界中のアーティストに影響を与えたドイツの影絵アニメーション作家ロッテ・ライニガー(1899～1981)の美しく幻想的な6作品、「アクメッド王子の冒険(完全修復サウンド版)」、「カルメン」、「パパゲーノ」、「ガラテア」、「眠れる森の美女」、「長靴を履いた猫」を上映した。



写真美術館で観る映画シリーズVol.20

## 「ガラスの使徒」

上映期間 平成17年12月17日(土)～12月25日(日)、  
平成18年1月2日(月)～2月18日(土) 53日間  
入場者数 3,837人

天体望遠鏡の為に、巨大なレンズを磨き続ける伝説のレンズ職人とガラスの化身ともいえる美しい少女のはかなくも切ない交流を繊細な映像でつむいだ作品。世間から取り残されようとしている不器用な人間達の人生模様を、大人のメルヘンとして描いた。



## 文化庁メディア芸術祭

上映期間 平成18年2月23日(木)～3月5日(日) 10日間  
入場者数 7,574人

メディア芸術祭受賞者シンポジウム、テーマシンポジウム、イベント(アジア学生アニメコラボレーション、CG carnival)や作品上映など充実したホール事業が展開され、満席のプログラムも多く10日間で7,574人の参加を得た。本上映後、「学生CGコンテスト」受賞作品や『惑星大怪獣ネガドン』など、SIGGRAPHやArs Electronicaなど海外での受賞者も輩出した。



写真美術館で観る映画シリーズVol.21

## 「ウォ・アイ・ニー」

上映期間 平成18年3月11日(土)～4月14日(金)  
18日間(平成18年3月31日までの上映日数)  
入場者数 1,187人

いつまでも恋人同士のような関係でいたい妻と自分の生活を大事にしたい夫。妻が「永遠の愛」をまっすぐに求めれば求めるほど、夫は「愛してる」とさえも言わなくなる。結婚生活の理想と現実、男性と女性の愛し方の違いを辛らつに、リアルに描いた作品。





## 収集の基本方針／作品収集実績

写真作品（オリジナル・プリント）を中心に、写真文化を理解する上で必要なものを、幅広く収集する。

### [写真作品]

- 1 国際的な視野に立って、国内外の芸術性、文化性の高い作品を幅広く収集する。
- 2 写真の発生から現代まで、写真史の上で重要な国内外の作家・作品を幅広く、体系的に収集する。
- 3 歴史的に評価の定まった作品を重視するとともに、各種の展覧会等で高い評価を受けた作家・作品の発掘に努め、現代から未来を展望した収集を行なう。
- 4 東京を表現、記録した国内外の写真作品を収集する。
- 5 日本の代表的作家については重点的に収集し、その作家の創作活動の全体像を表現し得る点数を収集する。

### [写真資料]

- 1 出版物（写真集、専門書、雑誌等）については、写真文化に関するものを歴史的、系統的に収集する。
- 2 ネガフィルムの類については、作家・作品研究などに必要と考えられるものを収集する。
- 3 ポスターなど、写真展の付属資料（図録、チケット等）を収集する。
- 4 その他、作家や作品の関連資料、周辺資料を適宜収集する。

## ● 作品収集実績

作家名及び代表作品名	点数	収集方法	撮影年	技法
穂苅三寿雄「北アルプス黎明」	20	購入	1914-1942	ゼラチン・シルバー・プリント
瀬戸正人「バンコク・ハノイ1982-1987」他	20	購入	1980-1990年代	ゼラチン・シルバー・プリント
尾仲浩二「背高あわだち草」	20	購入	1988-1991年代	ゼラチン・シルバー・プリント
山内道雄「TOKYO, 東京」他	20	購入	1980-1990年代	ゼラチン・シルバー・プリント
ナダール「第二回遼欧使節」	8	購入	1864	コロジオン湿板方式 アルビュール・プリント 台紙張り
アントニオ・ベアト「エジプト遺跡写真帖（アルバム）」	100	購入	1860-1880	コロジオン湿板方式 アルビュール・プリント アルバム綴
ダン・ワイナー「Bus Boycott, Montgomery, Ala (group meeting)」他	7	購入	1952-1956	ゼラチン・シルバー・プリント
ブルース・デヴィッドソン「New York City from Time of Change」他	8	購入	1961-1969	ゼラチン・シルバー・プリント
ジェローム・リープリング「Butterfly Boy, New York」	1	購入	1949	ゼラチン・シルバー・プリント
シドニー・カーナー「Randall's Island, Anti-War Rally」	1	購入	1940	ゼラチン・シルバー・プリント
佐久間兵衛「汽船」他	198	寄贈		ゼラチン・シルバー・プリント
矢野修二「初夏の感覚」他	4	寄贈		ゼラチン・シルバー・プリント
黒河内 題不詳	2	寄贈		ゼラチン・シルバー・プリント
撮影者不詳 母子三人像	1	寄贈	1890-1891	コロジオン湿板
撮影者不詳 三人像	1	寄贈	1890-1891	コロジオン湿板
W. ブラッドフォード・ベイルー「Alice's Adventure in Wonderland」	1	寄贈	2002	コンピューターグラフィックス
佐久間兵衛関係資料	1式	寄贈		
写真新文（第1号～第10号）	1冊	寄贈	1868-1879	アルビュール・プリント（合本）
合計	414			

## 平成17年度収蔵作品の紹介

### 購入作品

#### ● 穂苅三寿雄



#### ● 瀬戸正人



●尾仲浩二



●アントニオ・ベアト



●山内道雄



●ダン・ワイナー



●ナダール



●ブルース・デヴィッドソン





●ジェローム・リーブリング



●シドニー・カーナー



寄贈作品

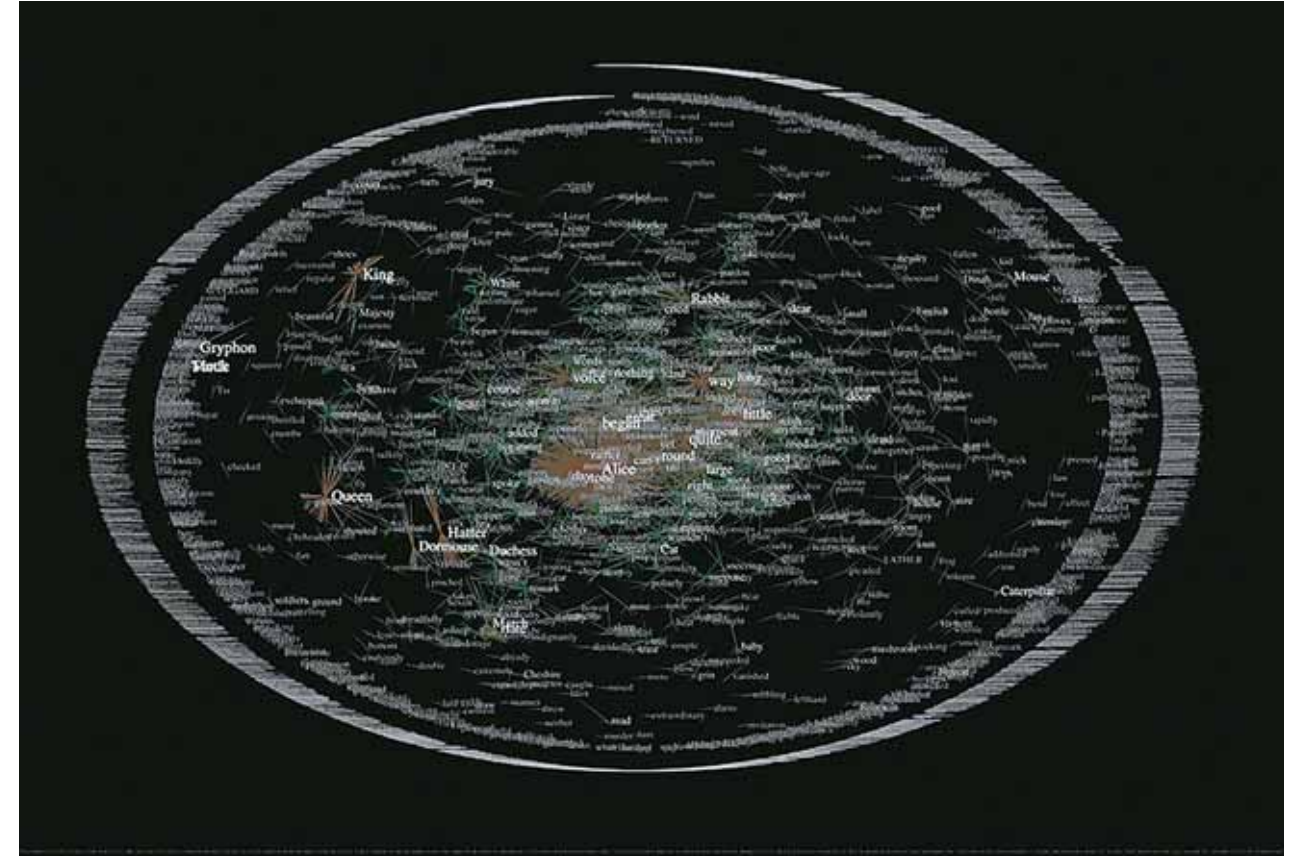
●佐久間兵衛



●矢野修二



●W. ブラッドフォード・ペイリー



●写真新文



●撮影者不詳



●撮影者不詳



## 保存科学研究室

写真の保存・修復に関する我が国最初の当研究室では、写真保存用包材、修復用材料などの写真適正試験をはじめ、各種写真の保存条件、展示照明条件などの最適化研究を行っている。また、画像劣化原因の排除、劣化画像の復元処理などを含む保存科学全般にわたる調査研究も進めている。

### 1 今年度の研究内容

燻蒸処理によって生じる写真画像への影響と長期保存性に関する研究を、千葉大学との共同実験で進めてきた。

オゾン層の破壊物質に臭化メチルが指定されたため、文化財の虫菌害対策として長年使用されてきた臭化メチル製燻蒸剤の生産・消費が平成17年より禁止となった。現在、代替文化財燻蒸剤として、4種類採用されている。従来、材質との化学反応による画像への影響を懸念して、写真には燻蒸処理をしないものとされてきた。しかし、写真も他の文化財と同じ収蔵庫に保存する博物館・資料館等は、他の文化財への影響を考慮した写真への燻蒸処理の要望がある。当館においては、今後保管状態の悪い作品を収蔵する場合、燻蒸処理も選択肢に成り得るかどうかを検討した。各燻蒸処理が各種の写真画像に与える影響を調査し、さらに、燻蒸処理した試料を強制劣化して、長期保存に対する影響も検証した。

この実験結果については、平成18年6月に開催される、文化財保存修復学会第28回大会・ポスターセッションおよび平成18年度日本写真学会年次大会・インタラクティブセッションにて報告予定である。

### 2 教育・普及活動

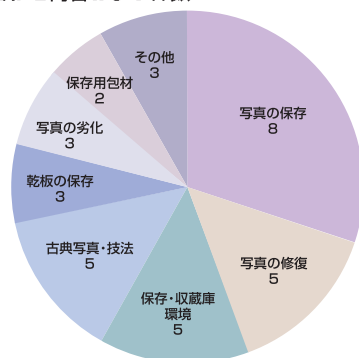
平成16年度に引き続き、一般の方々に美術館の施設・舞台裏を紹介する写真美術館ガイドツアーを開催し、当研究室においては、古典写真のサンプルを見せながら、技法の解説および写真の保存方法等について説明した。

館内のみならず、外部からの写真保存に関する問い合わせに応じることも当研究室の重要な業務となっている。問い合わせ内容および件数を図1に示す。一般的な写真や乾板の保存方法の他に、修復や古典技法、収蔵庫環境についての問い合わせが寄せられた。写真が二次資料的扱いから見直されるとともに、写真を収蔵している美術館や文書館などが、写真・フィルム・ガラス乾板の保存や保存環境の整備に着手し始めた結果であろう。

また、毎年実施している博物館実習では、カリキュラムの一

部として、当研究室においては実習生に対し写真特性の解説、作品保存環境の見学、保存用写真包材の交換実務等の指導を行なった。平成16年度から受け入れたインターシップ（就業体験）でも、保存という観点から美術館業務について説明し、保存業務の補助を依頼した。さらに、スクールプログラム、博物館学、日本写真学会誌への執筆や文書館でのセミナーを通して、写真保存の普及・教育活動もおこなっている。

図1.問い合わせ内容および件数



### 3 収蔵作品の保存環境整備

過年度における当研究室の実験は、従来の輸入保存箱に使用されている糊や、透かし模様がある弱アルカリ性の間紙は、写真画像に及ぼす悪影響の可能性を示唆した。そのため、平成15年度より行ってきたJISK7617（写真包材の写真画像への影響度試験方法）に合格した国産品への交換は、ほぼ終了した。引き続き、適切な保存箱の作製、収蔵作品の保護処理や修復を行っている。

今年度は以下の収蔵作品に修復および保護処理をした。

#### ・ THE FAR EAST II III

作品は、鶏卵紙が貼られた A MONTHLY ILLUSTRATED JOURNALを合本した288頁から成る半革装アルバムである。前表紙の綴じ紐が切れたため、表紙が背から外れ、革の表面には、剥離が認められたため処置した。

#### ・ THE FAR EAST IV

表表紙の綴じ紐やのど部分の革が切断しており、裏表紙の革は半分ほど切れた状態であった。修理跡が認められたため処置した。

#### ・ 熊沢鷹二作品の額縁改善処理

密閉、額装された写真は、反りによりガラスに密着し、またそのガラスの汚れも目立っていた。作家手作りの額に負荷を与えず、壁に展示でき、展示終了後には写真を取り出せるように改造した。

#### ・ 収納ケース2点（革装、紙装）の修理

革装は、蓋の木の折れや底部の天枠の外れを処置、紙装は、糊が劣化したための紙の浮きを処置した。

・ステレオ型ダゲレオタイプの保護処理として、2点の周囲のシーリング処理、2点の破損カバーガラスの交換を行った。

・ダゲレオタイプ2点、ティンタイプ1点のガラスの交換と周囲

### ● THE FAR EAST IV



過去の修復の糊を落とし、綴じ紐をつける



背に背紙、クータを貼り、背革に補修用革をつけ、厚紙を貼る



修復後

### ● Crystal Place (Negretti&Zambra)



解体。ガラスが割れている



落とし込みマットの作製、ガラスにニス を塗りオリジナル同様に窓を切り抜く



修復後

### ● ダゲレオタイプ収納ケース（紙装）



糊が劣化し、表の紙が簡単に剥がれる。平および木のつなぎ部を和紙で補修



地の傷み



修復後

のシーリング処理をした。

また、収蔵庫・作業室・展示室の環境維持のため、29か所に簡易計測紙を吊り下げ、毎月1回空気質のモニタリングを実施している。これは、コンクリートから放出するアルカリガス、あるいは木材等からの酸性ガスによる空気汚染をpH値で検討するためである。これによって、画像劣化原因になる有害ガスを放出する物質（塗料、糊、ダンボール等）の有無を確認する。また、空調フィルター（酸性・アルカリ・有機酸除去）効果の持続を知る手立てにもなっている。



## 図書室

写真・映像に関する専門図書室として、国内外で出版された写真集を中心に、評論、写真史・映像史、技法書、一般美術書、展覧会カタログ、専門雑誌、美術館ニュース、パンフレットなどの収集、整理、保存を行い、一般に公開している。また当館の美術館活動に必要な研究、調査や展示会準備などに必要な資料、情報の提供も行っている。

### ● 図書資料の収集

平成17年度受入冊数

	和書	洋書	和雑誌	洋雑誌	年間増加冊数
購入	79	44	25	0	148
寄贈	490	128	201	0	819
小計	569	172	226	0	967

蔵書総数57,883冊

### ● 図書資料の整理

#### (1) 特別整理

平成17年度は、平成18年2月19日(日)、21日(火)～23日(木)、3月6日(月)～8日(水)、10日(金)の8日間に所蔵雑誌目録作成のための所蔵調査を行った。対象は洋雑誌300タイトル、約4,000冊である。

#### (2) 図書資料保存対策

破損等のある図書資料の修復(外部委託)をすることによりその保全を図った。また、中性紙箱・保存用封筒等を活用し保存に努めた。

### ● サービス業務

#### (1) 閲覧サービス

専門図書館として一般公開しているが一般利用者への館外貸出は行っていない。資料の検索は、閲覧室に設置されたコンピューター2台で検索できるようになっている。さらに、平成17年4月14日より所蔵資料情報のインターネットによる公開も始めた。(図書資料のみ)  
また「新着図書コーナー」、「展覧会関連図書コーナー」を設け継続的に展示を行っている。展覧会ごとの展示状況は下記のとおりである。

単位(冊)

展覧会名	図書	カタログ
写真はもの見方をどのように変えてきたか		
第1部 誕生	26	0
第2部 創造	24	0
第3部 再生	32	3
第4部 混沌	13	11
ブラッサイー・ポンピドゥーセンター・コレクション	18	7
植田正治:写真の作法	15	8
写真展・岡本太郎の視線	9	5

#### (2) レファレンスサービス

写真、映像に関する図書資料についての質問および所蔵状況についての問い合わせに応じている。来室者からの問い合わせの他、電話、文書での問い合わせにも応じている。これらの質問についての回答は、今後のサービスに役立つものは、記録票を作成し、ファイルして活用している。

#### (3) 複写サービス

当室所蔵の資料について著作権の範囲内で複写サービスを行っている(モノクロのみ)。

### ● 平成17年度利用統計

月	開室日数	入室者数	出納冊数	レファレンス件数	コピー枚数
4月	26	2,257	1,023	183	983
5月	27	2,319	1,000	200	1,053
6月	26	2,444	1,185	228	1,070
7月	28	2,759	1,152	181	1,177
8月	27	2,658	1,378	157	1,542
9月	26	2,856	1,478	170	1,045
10月	26	2,352	975	182	884
11月	26	2,263	1,297	203	1,604
12月	24	2,078	1,529	144	1,325
1月	23	2,193	961	158	1,117
2月	21	2,014	875	144	649
3月	23	1,778	1,146	124	806
合計	303	27,971	13,999	2,074	13,255
1日平均		92	46	7	44

### ● その他

- (1) 他館展覧会への貸出は3件13冊であった。
- (2) 図書室への見学は23件、取材は6件であった。
- (3) 博物館学実習の一環として実習生8名を受け入れた。

